
三島市長定例記者会見資料

令和3年12月

月間行事予定



令和4年版 三島市民カレンダー発行
(今年のテーマは「みつけた!三島の“いいね”」)

日時 令和3年11月26日(金)

午前10時30分～

場所 三島市役所 本館2階 第二会議室



シニアもデジタル化の取組を強化へ！ 「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」を結成します

～ICTを活用した仲間づくり、生きがいを推進～

令和元年12月にスマート市役所宣言をした三島市では、様々なデジタル化への取組を進めていますが、この度、高齢者の介護予防や仲間づくりにも、ICTを活用した事業を取り入れ、強化推進していくために、「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」を結成します。このキャラバン隊は、講師1名と補助講師となるアシスタント数名が、地域の通いの場などに出向き、ICTを活用した仲間づくりや生きがいを、介護予防に繋がる講座を進めていくものです。

ここがポイント！

- 三島市初の「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」の誕生を記念し結成式を開催
- 「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」は全員がシニア世代
- 「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」が市内全域希望の場所へ出張
- 一番ゆっくりな方のペースに合わせて進むため、初心者でも安心して参加できる
- 講座終了時には、お仲間同士が繋がることができるグループLINEを作成するため、継続的に交流することが可能

1 「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」結成式

三島市スマホ・タブレット講師1名と三島市スマホ・タブレットアシスタント9名に依頼状を交付します。

日時：12月15日（水） 9時30分～

場所：市役所市長応接室

2 「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」について

スマホ・タブレットアシスタントとして活動してくれるシニアを募り、養成講座等を受講した第1期「三島市スマホ・タブレットアシスタント」9名と「三島市スマホ・タブレット講師」1名で、「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」を結成します。

令和元年度に「スマート市役所宣言」をした三島市が、ICTの活用に苦手意識を持つ方が多いシニアを対象に、身近な仲間づくりや介護予防の中にICTを取り入れ、高齢者の健康寿命の延伸を目指すとともに、三島市全体のデジタル化の取り組みをさらに加速させます。

3 「三島市スマホ・タブレットキャラバン隊」派遣について

地域で活動するシニアクラブや高齢者を中心とした住民主体の通いの場等の団体を対象に派遣を行います。講座内容は事前に講師と相談の上決定し、1講座2回を基本に実施していきます。



もっと外へ！もっと笑顔に！

「通いの場マップ」を発行します

～住民主体の通いの場 132 か所とシニアクラブ 45 クラブを紹介します～

地域活動が活発な三島市には、「住民主体の通いの場」と呼ばれる市民の方が運営し、主に高齢者が集う通いの場が数多くあります。高齢者が自分に合った通いの場を見つけ、参加し、仲間を作り、住み慣れた地域でいきいきとした生活を続けられるよう「通いの場マップ」を作成しました。

これまで通いの場に参加していなかった方も、通いの場の活動内容や、活動場所から興味のある所を探し、気軽にご参加ください。

また、通いの場のプログラムに利用できる講座情報も掲載していますので、是非ご活用ください。

ここがポイント！

- このマップ一枚に、132の「通いの場」と45のシニアクラブを掲載。
- 市内全域の「通いの場」が、地図上に番号で表示されており、地図上からも検索可能。
- 「通いの場」の主な活動内容、活動日時も一覧表示でわかりやすい。
- その他、通いの場の活動や高齢者の活動に役立つ情報も満載。
- 高齢者にも見やすいA1の大判サイズ（折り畳み時A4サイズ）で発行。

1 「通いの場」とは

体操や趣味活動等を行い、介護予防に資する活動を住民が主体となり運営し、活動実績が月1回以上あるもの。

2 「通いの場マップ」発行の目的

通いの場は、高齢者が中心となり、地域の仲間や同じ趣味をもつ人が定期的集まり活動する場です。この通いの場の活動は、介護予防やフレイル予防、生きがいづくりに繋がる活動で、高齢者がいつまでも元気で過ごすための重要な活動の一つです。

この通いの場を広く周知し、これまで参加していなかった方の参加に繋げ、既存の通いの場については、今後の活動継続の励みにして頂く事を目的としています。

3 「通いの場マップ」配布場所

市役所本館1階 地域包括ケア推進課いきがい推進係

電話番号 983-2609

※通いの場代表者あてには郵送済み



【通いの場マップ】

三島市健康推進部 地域包括ケア推進課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：原
TEL. 055-983-2609 FAX. 055-975-9788 e-mail : houkatsu@city.mishima.shizuoka.jp

令和3年度三島市総合防災訓練

～ 身に迫る災害に備えて ～

突発的な大地震による大規模な災害が発生したことを想定し、防災関係機関及び自主防災会との連携を一層強化するとともに、市民の防災に関する意識・技能の向上を図るため、三島市総合防災訓練を実施します。

ここがポイント！

- 三島市役所本庁舎駐車場等を会場とする啓発・体験ブース（22ブース）と災害時に使用する施設を会場とする個別訓練（14訓練）に分けて実施します。
- 三角巾包帯法、AED、地震体験車など、来場者も体験できるブースを用意しています。
- 陸上自衛隊や消防署の車両を展示します。

1 日 時

12月5日（日） 午前9時～正午

※個別訓練の実施日時は訓練により異なります。

2 会 場

三島市役所本庁舎駐車場及び総合防災センター

※個別訓練の実施会場は訓練により異なります。

3 参加団体

陸上自衛隊、静岡地方气象台、県東部保健所、三島警察署、市民文化会館指定管理者、富士山南東消防本部、三島市消防団、東海旅客鉄道三島駅、ライフライン事業者、医療機関、防災関係機関、協定締結民間企業・団体、自主防災組織、三島市 ほか

4 訓練内容(11月16日時点)

次頁「実施予定訓練一覧」

5 中止基準・伝達方法

(1)中止基準

- ・気象警報が発表された場合・市内で震度4以上の地震が発生した場合・新型コロナウイルス感染症にかかる「まん延防止等重点措置区域」や「緊急事態措置区域」となった場合・その他中止することが必要と判断される事象が発生した場合

(2)中止決定日時

12月5日(日) 午前6時頃に決定

(3)伝達方法

市民メール配信、LINE配信、市ホームページ掲載



令和3年度三島市総合防災訓練 実施予定訓練一覧

(11月16日時点)

訓練番号	訓練名	訓練概要	参加団体	主担当課	会場(予定)	実施予定日
啓発-1	マンホールトイレ及び下水道管検査機器の展示	マンホールトイレや下水道管検査機器の展示	・サンケン起工	下水道課	本庁舎 駐車場	12月5日
啓発-2	災害時のトイレ対策講習	仮設・簡易・携帯トイレの体験	・防災指導員	危機管理課		
啓発-3	避難所備蓄品の展示	主な備蓄品の展示		危機管理課		
啓発-4	災害伝言ダイヤル体験	災害伝言ダイヤル体験	・NTT西日本	危機管理課		
啓発-5	災害時の供給設備・消費機器啓発	地震発生時の供給設備作動説明と復帰について	・静岡県LPガス協会三島地区会	危機管理課		
啓発-6	災害時の電気安全対策	感震ブレーカーの実演と紹介、避難所立上げ研修等の啓発	・東京電力パワーグリッド	危機管理課		
啓発-7	都市ガス事業者の地震対策	動画による都市ガス会社の地震対策、都市ガスの安全対策展示	・静岡ガス	危機管理課		
啓発-8	気象情報の啓発と気象観測体験	防災気象情報(キキクル等)の解説、気象観測の体験等	・静岡地方気象台	危機管理課		
啓発-9	地区防災計画・個別避難計画啓発	マイタイムラインの作成、要支援者の補助体験(車椅子)、防災相談(コロナ禍の防災訓練)	・三島市防災士会	危機管理課		
啓発-10	災害時医療救護活動啓発	災害時の医療救護体制、口腔衛生、災害時に必要な薬 など	・医師会・歯科医師会・薬剤師会	健康づくり課		
啓発-11	ソーラークッカー展示	ソーラークッカー展示	・ストップ地球温暖化推進協議会	環境政策課		
啓発-12	スモークハウス体験	スモークハウスによる火災(煙)体験	・三島市消防団	危機管理課		
啓発-13	子ども防災救命体験	AED、担架搬送、水消火器、リスクウォッチ	・災害教育支援機構	危機管理課		
啓発-14	消防団資機材展示(車両含)	消防団の資機材展示	・三島市消防団・三島消防署(車両)	危機管理課		
啓発-15	自衛隊装備品展示(車両含)	自衛隊の装備品展示	・自衛隊	危機管理課		
啓発-16	バイク隊啓発(災害への備え)	ハザードマップや備蓄品の啓発	・オフロードバイク隊	危機管理課		
啓発-17	給水の実演・飲料水備蓄啓発	飲料水備蓄の啓発、給水車からの給水体験	・CDC情報システム	水道課		
啓発-18	排水ポンプ車展示	排水ポンプ車の展示	・三島建設業協力会	土木課		
啓発-19	三角巾包帯法講習	三角巾包帯法の体験	・県看護協会東部地区支部	健康づくり課	総合防災センター	
啓発-20	ドローン操縦体験	小型ドローンの操縦体験	・カメラのコロナ	危機管理課		
啓発-21	耐震展示	耐震啓発パネル展示及びパンフレットの配架		住宅政策課		
啓発-22	地震体験車	地震の体験		危機管理課		
個別-1	救護所開設訓練	救護所開設訓練	・医師会・歯科医師会・薬剤師会	健康づくり課	順天堂大学	12月5日
個別-2	福祉避難所開設訓練	福祉避難所の開設、受入に係る情報伝達、福祉トリアージ	・佐野あゆみの里・中郷西保育園	障がい福祉課	佐野あゆみの里、中郷西保育園	12月5日
個別-3	救援物資在庫管理訓練	救援物資の受入・搬出の連絡方法や在庫管理の方法等を書面で確認		スポーツ推進課	市民体育館大会議室	12月11日

令和3年度三島市総合防災訓練 実施予定訓練一覧

(11月16日時点)

訓練番号	訓練名	訓練概要	参加団体	主担当課	会場(予定)	実施予定日
個別-4	三島市災害ボランティアセンター運営訓練	社会福社会館を本部としたボランティアセンター開設訓練	・社会福祉協議会・災害VC・ライオンズクラブ・三島青年会議所	福祉総務課	社会福社会館	12月5日
個別-5	遺体措置訓練	遺体収容所の開設、遺体の搬送・受付・検視・検案・歯牙鑑定・遺体処置・遺体安置	・三島警察署・医師会・歯科医師会・農協葬祭・ときかわ	市民課	北上文化プラザ	12月5日
個別-6	滞留旅客避難誘導訓練(駅北)	三島駅北口から三島長陵高校まで滞留旅客を避難誘導、避難所受付	・JR東海三島駅・三島長陵高校・現地配備員	危機管理課	三島長陵高校	12月5日
個別-7	滞留旅客避難誘導訓練(駅南)	三島駅南口から市民文化会館まで滞留旅客を避難誘導、避難所受付	・市民文化会館指定管理者・三島市観光協会・三島市ふるさとガイドの会	商工観光課	市民文化会館	12月5日
個別-8	応急危険度判定訓練	目視による建物の被害状況判定	・民間応急危険度判定士	住宅政策課	市内	12月5日
個別-9	住家被害認定調査実地訓練	住家被害認定調査の実地訓練		課税課	市内	11月24日～26日
個別-10	ペット同行避難訓練	避難の開設訓練を実施する避難所でのペット同行避難訓練、ペット防災関連グッズの展示	・東部保健所・動物保護協会東部支部	環境政策課	山田中	12月5日
個別-11	避難所開設訓練	東小、南小、北小、錦田小、徳倉小、坂小、中郷小、山田小、南中、北中、山田中、南高校(11/9現在)避難所開設訓練、各種資機材の設置等	・各自主防・各小中学校・現地配備員	危機管理課	各避難所	12月5日
個別-12	被災者支援総合相談窓口対応訓練	被災者支援総合相談窓口開設から各支援業務受付窓口へ被災者を誘導するための導線確認		福祉総務課	生涯学習センター3F	12月15日
個別-13	医療救護対策本部無線訓練	救護所との無線による情報伝達訓練	・医師会・歯科医師会・薬剤師会	健康づくり課	保健センター	12月5日
個別-14	緊急速報メール配信訓練	緊急速報メールを配信する		危機管理課	総合防災センター	12月5日

県東部・伊豆地区の5市1町の高校に在席している約6,000名に配布

広報みしま「高校3年生向け特別号」の発行について

～ 卒業前に改めて自分自身の将来計画や三島（地元）のことをみつめなおすきっかけに ～

このたび、本市における初めての取り組みといたしまして、高校3年生を対象にした「広報みしま特別号」を発行することといたしました。

これは、卒業を前にした高校3年生に改めて「ふるさと」について考えるきっかけとしていただくとともに、若いうちからの郷土愛やシンビックプライドの醸成を目的として発行するものです。

発行する特別号は、三島の「なぜ？」を紹介するページをはじめ、地元で活動している方や、Uターンしてきた方の紹介ページ、東京の大学へ通学している現役大学生の紹介ページなどで構成しています。

なお、この特別号は、12月10日（金）に県東部・伊豆地区の5市1町に在席している高校3年生約6,000人に 学校を通じて配布していただきます。

ここがポイント！

- 高校3年生を対象にした「広報みしま特別号」の発行は三島市初！
- 特別号は、12月10日（金）に県東部・伊豆地区の5市1町に在席している高校生約6,000人に学校を通じて配布

1 発行物・発行日

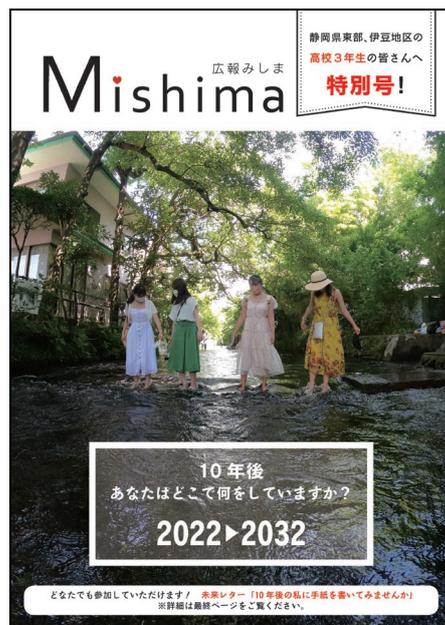
広報みしま「高校3年生向け特別号」 令和3年12月10日（金）発行

2 届け先

静岡県東部・伊豆地区（三島市・沼津市・裾野市・函南町・伊豆市・伊豆の国市）の高等学校（23校）に在籍している高校3年生に学校を通じて配布

3 特別号の内容（全8ページ）

- (1) 三島のこと、あなたは紹介できますか？
※今さら聞けないことなど、三島の「なぜ？」を紹介
- (2) 地元で活動している方からのメッセージ
- (3) わたしたち、東京の大学へ通っています！現役の大学生24時
※三島から通学する4人の現役大学生の生活を紹介
- (4) わたしたち、地元へ戻ってきました！
※地元へUターンした2人を紹介
- (5) 未来レター（10年後の私に手紙を書いてみませんか）参加募集



【広報みしま特別号（表紙）】

こんな時期だからこそ 自分の未来 そして まちの未来を
未来レター ～10年後のわたしへ～

～ 10年後の自分あてに手紙を書いてみませんか ～

本市は、今年で市制施行80周年を迎える節目の年です。このたび、記念事業の一環として、10年後の自分あてに手紙を出す「未来レター」事業を実施することといたしました。

これは、新型コロナウイルスの影響により、全国各地で各種の事業やイベントが中止となってしまった中で、この事業を通じて、未来や将来について前向きに考え、明るい希望を持つとともに、手紙を書く現在、そして手紙が届く10年後に、自分自身や三島について改めて考えるきっかけとしていただくことを目的として実施するものです。

市の公共施設（6カ所）で配布する専用の様式を使って10年後の自分あてに手紙を書き、100円切手を貼付して専用の回収箱に投函していただきますと、2032年1月に郵送でご自宅にお届けする仕組みとなっています。

専用用紙の配布と回収箱の設置期間は、12月17日（金）から来年2月4日（金）までとなっています。

なお、設置初日となる12月17日（金）午後1時30分から市役所本館玄関ロビーの「未来レターブース」前にてキックオフセレモニーを開催します。

ここがポイント！

- 10年後（2032年1月）に手紙をお届けします！
- 手続きは簡単！①専用用紙を受け取る ②手紙を書いて100円切手を貼付 ③専用回収箱へ投函
- 専用の手紙には、下記の3項目が印刷されています。
 - ①10年後（2032年）のわたしへ ②大切なあなたへ（家族や友人について） ③10年後（2032年）の三島はどんな街になってほしいですか

1 専用様式の配布期間・回収箱の設置期間

令和3年12月17日（金）～令和4年2月4日（金）

2 専用様式の配布場所・回収箱の設置場所（6箇所）

市役所本館玄関ロビー・市民生涯学習センター1階ロビー・

北上文化プラザ・中郷文化プラザ・錦田公民館・坂公民館

※各施設が開館している曜日、時間に受け取り、提出ができます。

3 未来レターの出し方

- (1) 専用様式の配布場所で様式を受け取ります。
- (2) 10年後の自分あてに手紙を書きます。
- (3) 100円分の切手を封筒に貼り付けます。
- (4) 各施設に設置の回収箱に投函します。
※郵便ポストには投函しないでください。

4 キックオフセレモニー

日時 12月17日（金）午前11時～

場所 市役所本館玄関ロビー

内容 園児による未来レターの投函など（予定）



【未来レター（封筒表面）】

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

令和4年版 三島市民カレンダーの発行

～テーマは「みつけた！三島の“いいね”」～

市民カレンダーは、その年の主な事業やお知らせなどを掲載し、市民の皆様の生活に役立てていただくことを目的として、昭和42年から発行を続け、今年で56年目を迎えることとなりました。

今年の掲載写真のテーマは、「みつけた！三島の“いいね”」です。市内外から200の作品を応募していただき、選定させていただきました。

ここがポイント！

- 市民カレンダーは、昭和42年から発行を続け、今年で56年目。
- 掲載写真のテーマは、「みつけた！三島の“いいね”」。市内外から200作品が応募（平成29年版から掲載写真を公募）。

1 令和4年版市民カレンダーについて

発行日 11月30日（火）

発行部数 45,900部

配布方法 自治会・町内会を通じて、広報みしま12月1日号と一緒に配布。また、市役所、生涯学習センター、市立公民館等で配布。

2 過去（5年間）のテーマ

平成29年	発見！みしまのステキ
平成30年	みしまで出会ったハピネスシーン
平成31年	今伝えたい箱根西麓の景色
令和2年	私のイチオシの三島
令和3年	未来に残したい三島



三島市企画戦略部広報情報課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：関、木村
TEL. 055-983-2620 FAX. 055-983-2719
e-mail : kouhou@city.mishima.shizuoka.jp

県内で326例目

野生イノシシの豚熱(CSF)感染確認に伴う 緊急対策について

この度、野生イノシシのCSF 遺伝子検査において、市内で捕獲された野生イノシシとしては初めてとなる感染（県内 326 例目）が確認されました。市内においては日ごろから感染防止対策を徹底しています。今後も、引き続き関係各位の皆さんの協力により感染拡大防止に関し、正確な情報提供に努めて参りますので、根拠のない噂や情報などにより混乱することがないようにご協力をお願いします。

ここがポイント！

- 豚熱は豚及びイノシシ特有のウイルス性疾患であり、人には感染しません。
- 市内養豚場では豚熱予防注射及び消毒の実施、豚舎周辺へのワイヤーメッシュ（網）の設置による防除を行っています。
- 市鳥獣被害対策実施隊並びに猟友会による野生イノシシの駆除や野生イノシシを対象とした経口ワクチンの散布を行っています。さらに今回の感染確認を受け、くくり罠設置等の強化を行いました。

1 日時・場所

- 県内事例：326 例目
 - 捕獲日：11 月 12 日（金）
 - 捕獲場所：三島市佐野
 - 個体情報：オス（体長 95cm 体重 30kg）
- ※今回は野生イノシシの感染確認であり、**市内養豚場での豚熱の発生は確認されておりません。**

2 市の対応

市内においては、静岡県、市鳥獣被害対策実施隊並びに猟友会、養豚農家等と連携し、野生イノシシの駆除、野生イノシシを対象とした野外での経口ワクチンの散布をはじめ、養豚場での豚熱予防注射及び消毒の実施、豚舎周辺へのワイヤーメッシュ（網）の設置による防除など、日ごろから感染防止対策を徹底しています。

また、今回の感染確認を受け、市内養豚場への周知及び状況確認、猟友会への周知、豚熱個体捕獲地近辺へのくくり罠の重点設置、それに伴う猟友会へのくくり罠用ワイヤーセット 40 組及び豚熱検査キット約 50 セット（血液採取）の緊急追加配布を行いました。また、11 月 29 日（月）に予定している経口ワクチン散布は従来予定していた数（5,6 カ所）から 10～15 カ所に増加して行います。

3 補足情報

豚熱(CSF)は家畜伝染病予防法により特定家畜伝染病に指定される豚及びイノシシ特有のウイルス性疾患であり、人には感染しません。豚肉の摂取により、豚熱(CSF)が人に感染することは世界的に報告されていません。また、市場に流通する豚肉は、全て検査に合格したものだけが、流通することになっており、感染豚の豚肉が一般に販売されることはありません。

三島市産業文化部農政課 〒411-8666 静岡県三島市北田町 4-47 担当：土屋、青木

TEL. 055-983-2652 FAX. 055-981-7720 e-mail : nousei@city.mishima.shizuoka.jp

マイナンバーカードを活用した

戸籍謄抄本・戸籍の附票の写しの コンビニ交付サービスの開始について

三島市では、令和3年12月1日（水）から、マイナンバーカードを利用して、マルチコピー機を設置済の全国のコンビニエンスストアで住民票の写し等の証明書が取得できる「コンビニ交付サービス」につきまして、新たに戸籍謄抄本・戸籍の附票の写しの発行を同サービスのメニューに追加することとしました。

土曜日・日曜日・祝日を含む毎日早朝（AM6:30～）から深夜（～PM11:00）まで、簡単なタッチパネルの操作で取得できます。

ここがポイント！

- コンビニ交付サービスのメニューに、新たに戸籍謄抄本・戸籍の附票の写しの発行を追加し、証明書発行に係る利便性の向上を図った。
- これまで戸籍謄抄本・戸籍の附票の写しは、窓口対応・郵送対応のみであったが、土曜日・日曜日・祝日を含む毎日（システムのメンテナンス日を除く。）早朝（AM6:30～）から深夜（～PM11:00）まで、マルチコピー機の簡単なタッチパネルの操作で、短時間で取得できることになる。

1 日時・場所

令和3年12月1日（水）から、マルチコピー機を設置済の全国のコンビニエンスストアで利用可能

2 事業の詳細

- ・コンビニに設置されているマルチコピー機から、マイナンバーカードを利用して取得します。
- ・現行の住民票や印鑑証明書のコンビニ交付サービスと同様に、土・日・祝日を含む毎日（12月29日から1月3日及びシステムのメンテナンス日は除く。）早朝6:30から深夜11:00までの時間帯で、マルチコピー機の簡単なタッチパネルの操作で、短時間で取得できます。
- ・本籍地を三島市内に有する市内在住の方であれば、令和3年12月1日（水）のサービス開始初日から取得可能です。
- ・本籍地は三島市内に有するが、市外に在住の方は、事前に三島市への利用登録申請（これもコンビニから可能）が必要。コンビニ交付サービスで戸籍証明書等の交付を受けようとする場合において、初回のみの手続き※を行っていただきます。（利用登録完了まで4～5日。その後サービス利用が可能となります。）
（※その後、市区町村をまたいだ住所異動を行った場合などは再度利用登録申請が必要です。）
- ・戸籍謄抄本・戸籍の附票の写しの取得に係る手数料の金額は窓口発行と同額です。
（戸籍謄抄本一通あたり450円、戸籍の附票の写し一通あたり300円）
- ・利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードによりコンビニ交付を利用することができます。

心のバリアフリー社会の実現を目指して
バリアフリー教室 in 北小

～車いす体験等から手助けや介助方法を学ぶ～

市では、三島市移動等円滑化基本構想の基本方針の一つである「心のバリアフリーの推進」を目的に、毎年、市内の小学生を対象にした「バリアフリー教室」を開催しています。

この教室を通して、障害のある方等への理解を深めることで、誰もがごく自然に障害のある方をサポートできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

ここがポイント!

- 車いす体験や低床バスの乗降体験、障がいのある方からの体験談を聞くことにより、日常生活におけるバリアとは何かを知り、バリアフリーに関する理解と関心を深めます。
- 中部運輸局静岡運輸支局、三島市社会福祉協議会、三島市の3団体による共催で行います。

1 日時・場所

12月9日(木)10時20分～12時05分

三島市立北小学校 体育館等(三島市文教町1丁目4番8号)

2 事業の概要

参加者：三島市立北小学校3年生

主催：国土交通省中部運輸局静岡運輸支局、三島市、
社会福祉法人三島市社会福祉協議会

協力：三島市身体障害者福祉会

内容：①講話(身体障害者福祉会より)

障がいのある方からの体験談、バリアフリーの基礎知識、
障がいのある方への接遇

②疑似体験及びサポート体験等

車いす体験、ノンステップバス乗降体験等

昨年度の実施状況



【車いす体験】

3 これまでの経過

平成20年からの取組を開始(今年で13回目の開催)



【ノンステップバス乗降体験】

～音楽でつながる 未来へつなげる～
三島市制80周年・文化会館開館30周年記念

三島せせらぎ音楽祭

日本のクラシック界を代表するトッププレイヤーが三島に集結！

日本のクラシック界を代表する一流の音楽家と、三島市で活動する吹奏楽団や音楽を愛好する市民・団体が協働で作りあげる音楽祭を初開催。街を流れる「せせらぎ」のように上質なクラシック音楽をお届けします。

ここがポイント！

- 日本のクラシック界を代表する一流の音楽家14名が三島に集結！
- 吹奏楽クリニック・訪問コンサートを通して、子どもたちの未来へつなげる、市民が音楽でつながる時間を届けます。
- 最終日には文化会館大ホールでコンサートを開催。上質なクラシック音楽を2部構成で鑑賞いただけます。

1 音楽祭のプログラム

- ♪ 未来へつなげる 吹奏楽クリニック
- ♪ 音楽でつながる 訪問コンサート
- ♪ 三島でつなぐ YouYou せせらぎコンサート

2 主催等

主催：三島せせらぎ音楽祭実行委員会、株式会社SBSプロモーション、
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
共催：三島市、三島市教育委員会、三島市民文化会館

3 各プログラムの概要

(1) 吹奏楽クリニック

下野竜也氏（指揮者）、高橋敦氏（トランペット）による指導

ア 令和3年12月11日（土）

10：00～12：00 山田中学校吹奏楽部（会場：山田中学校 音楽室）

14：30～16：30 U-15 伊豆中学生選抜吹奏楽団（会場：市民文化会館 リハーサル室他）

18：00～20：00 三島市民吹奏楽団（会場：市民文化会館 小ホール）

イ 令和3年12月16日（木）

19：00～21：00 U-15 伊豆中学生選抜吹奏楽団（会場：市民文化会館 小ホール）

(2) 訪問コンサート（予定）

ア 令和4年1月14日（金）

市内小学校（予定）

イ 令和4年1月15日（土）

市内病院施設（予定）

ミニコンサート&福祉事業所展示即売会（会場：日清プラザ三島店 1F 催事場）（予定）



【コンサートチラシ】

(3) YouYou せせらぎコンサート

令和4年1月16日(日)(会場:市民文化会館 大ホール)

第1部 ふれあいステージ 開場10:30 開演11:00(約80分)

第2部 ザ・クラシックステージ 開場13:30 開演14:00(約120分)

※曲目・チケット販売情報等の詳細は配布資料のとおり(チラシ参照)

4 音楽祭の出演者

下野竜也(指揮者※吹奏楽クリニックのみ)、横山幸雄(ピアノ)、矢部達哉(ヴァイオリン)、戸上眞里(ヴァイオリン)、松浦奈々(ヴァイオリン)、水谷晃(ヴァイオリン)、篠崎友美(ヴィオラ)、大島亮(ヴィオラ)、山本裕康(チェロ)、富岡廉太郎(チェロ)、池松宏(コントラバス)、高橋敦(トランペット)、清水華澄(メゾソプラノ)、隠岐彩夏(ソプラノ)

※プロフィール詳細は配布資料のとおり(チラシ裏面参照)

5 経緯、補足情報 等

- ・昨年8月に市内で開催された「JAPAN LIVE YELL project」シンボルイベント『ライブ・ライブみしま こころの音楽会』(主催:文化庁、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 共催:三島市)をきっかけに、音楽家と市民が協働で音楽祭を企画。
- ・本音楽祭は、文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業「JAPAN LIVE YELL project」を利用し実施します。

三島市産業文化部文化振興課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当:佐藤
TEL. 055-983-2756 FAX. 055-981-7720 e-mail: bunka@city.mishima.shizuoka.jp

三島せせらぎ音楽祭

吹奏楽クリニック一般公開(見学)のお知らせ

日本を代表する一流の音楽家が、「三島せせらぎ音楽祭」の一環として、三島市内の吹奏楽団を対象に演奏指導(クリニック)を行います。

これに伴いクリニックの様子を下記により一般公開しますので、吹奏楽関係者などご興味のある方は是非お越しください。

記

1 対象団体及び公開日時

(1)三島市民吹奏楽団

日時：令和3年12月11日(土) 18:00~20:00(開場 17:45)

場所：三島市民文化会館 小ホール

(2)U-15 伊豆中学生選抜吹奏楽団

日時：令和3年12月16日(木) 19:00~20:45(開場 18:45)

場所：三島市民文化会館 小ホール

2 指導者

下野 竜也(指揮者)

高橋 敦(トランペット)

3 定員など

①、②いずれも先着150人。事前申し込み不要。当日会場に直接お越しください。

※発熱又は風邪の症状、体調がすぐれない方は来場をお控えください

※会場でのマスクの着用、検温、手指のアルコール消毒にご協力ください

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止、内容等を変更する場合があります

〈問合せ先〉

三島市産業文化部文化振興課

〒411-8666 三島市北田町4-47

TEL. 055-983-2756

FAX. 055-981-7720

E-Mail: bunka@city.mishima.shizuoka.jp

令和3年 年末の交通安全県民運動

～安全を つなげて広げて 事故ゼロへ～

市民一人ひとりが、自らの交通安全に関する意識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止を図ります。

ここがポイント！

- **初日一斉街頭広報の日（12月15日（水））**：本運動の開始を広報するとともに、街頭における交通指導等を行い、期間中に行われる各種活動への取組意識を高めます。
- **飲酒運転撲滅・“ピカッと作戦”（12月17日（金））**：県下一斉の「飲酒運転等危険運転防止の日」に合わせ本町や三島広小路駅周辺の飲食店に飲酒運転撲滅及び反射材着用の呼びかけを依頼します。

1 日時・場所

日時 令和3年12月15日（水）～31日（金）の17日間
場所 三島市内各所

2 主な事業の詳細

・初日一斉街頭広報

日時 令和3年12月15日（水）

内容 運動開始を周知する「初日一斉街頭広報」を各種交通関係団体と協力して行います。市役所前では、三島警察署、交通安全協会三島地区支部交通安全指導員、警察署関係団体、市民関係団体の代表者、三島市職員の合計約80名で、のぼり旗を掲出してドライバーや歩行者に交通安全の啓発を行います。



▲初日一斉街頭広報（令和3年春）

・二人三脚高齢者訪問

日時 令和3年12月15日（水）

内容 交通安全指導員、民生委員、市職員が高齢者宅を訪問して、個別に交通安全を呼びかけます。
※本活動は戸別訪問のため実施を控えていましたが、新型コロナウイルス感染症に配慮したうえで、今季運動から活動を再開します。



▲二人三脚高齢者訪問（令和元年夏）

・飲酒運転撲滅・ピカッと作戦！

日時 令和3年12月17日（金）

内容 三島警察署員、交通安全指導員、市職員が、本町や三島広小路駅周辺の飲食店を訪れて、店内での飲酒運転撲滅のポスターの掲示や歩行者へ反射材の着用を呼びかけしていただくよう依頼します。



▲飲食店を訪問（令和2年冬）

令和3年 年末の交通安全県民運動実施計画書

- 1 期 間 12月15日(水)～12月31日(金)まで17日間
 2 スローガン ～安全をつなげて広げて 事故ゼロへ～
 3 運動の重点
 ○横断歩行者の安全確保と自転車の安全利用
 ○夕暮れ時と夜間の事故防止
 ○飲酒運転等危険運転の防止
 ○危険を予測した「かもしれない」運転と歩行の徹底

4 行事関係

行事名	実施日	行事内容	実施場所	関係機関・団体
初日一斉 街頭広報	12月15日 (水) 7:30～8:00	交通安全運動の周知徹底と、交通安全意識の高揚を図り正しい交通ルールとマナーの実践を促すため、関係団体の協力を得て、市役所前、自治会主要交差点、通学路で、街頭広報・指導を実施する。 ※市役所前は、警察署員、警察関係団体員、市民団体の代表者、市職員のみで実施。	市役所前・自治会主要交差点・通学路	三島市、三島市議会 三島警察署、警友会 交通安全協会 安全運転管理協会 交通指導員会 交通安全母の会 交通事故撲滅市民の会 シニアクラブ三島 地域交通安全運動推進委員会
二人三脚 高齢者訪問	12月15日 (水) 13:30～15:00	交通安全指導員、民生委員、市役所が協力し、高齢者宅を訪問して交通安全を呼びかける。	中郷地区 (松本)	三島市 民生委員 交通安全指導員
飲酒運転撲滅・ ピカッと作戦!	12月17日 (金) 17:30～18:30	飲食店を巡り、飲酒運転根絶及び反射材の着用を促す“ピカッと作戦!”への啓発の協力を依頼する。	本町・ 三島広小路駅 周辺	三島市 三島警察署 交通安全指導員
出張! 交通パトロール “トラパト”	12月21日 (火) 8:00～9:00	保護者に対し、シートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底を推進する。	緑町佐野 保育園	三島市 交通安全指導員
自転車安全利用 強化の日	12月22日 (水) 11:00～11:45	自転車の正しいルールの徹底やマナーの遵守を呼びかけるため、主要交差点にて啓発を行う。	三島駅東交差点	三島市 三島警察署 交通安全指導員 三島市交通指導員会

※トラパト…交通パトロール(トラフィックパトロールの略)。新型コロナウイルス感染症防止に配慮した広報活動。

市民の想いがこもった作品の数々が誌面を飾る
市民文芸誌 「文芸三島」
～今年は44号！入賞者表彰式も開催～

「文芸三島」は、文芸活動に関心をもつ市民の皆さんの作品を掲載した文芸誌で、昭和53年度に創刊して以来、市民の文芸創作活動の場として定着しています。12月15日（水）に発行となる第44号には、8部門に248作品の応募があり、約200作品が掲載されます。

また、12月16日（木）には入賞者表彰式及び入選者・編集委員との意見交換会が行われます。

ここがポイント！

- 昭和53年度発行の創刊号には、三島市にゆかりのある文化人の小出正吾氏、五所平之助氏、大岡博氏が選者として名を連ねる。
- 小説、随筆、詩、短歌、俳句部門を一般の部、学生の部に分けて掲載。

1 文芸三島第44号概要

(1) 発行について

発行・編集	三島市・三島市教育委員会・文芸三島編集委員会
発行日	12月15日（水）
発行部数	600部
作品部門	小説、文芸評論、随筆、詩、短歌、俳句、川柳、はめ字文（計8部門）
応募資格	市内在住、通勤・通学、もしくは市内で活動する文芸団体に所属
応募点数	248点（202人）

(2) 販売について

期間	令和3年12月17日（金）～令和4年3月4日（金） ※3月7日（月）以降は文化振興課にてバックナンバーとともに販売
価格	1冊700円
販売場所	文化振興課、図書館本館、図書館中郷分館、協力書店

2 文芸三島第44号入賞者表彰式

日時	12月16日（木）午後1時30分～（約1時間）
会場	市民生涯学習センター3階 講義室
賞本数	最優秀賞「文芸三島賞」8本 奨励賞「文芸三島奨励賞」47本
入賞者	別紙一覧のとおり <u>※入賞者の公表解禁は12月16日（木） 午後2時30分とさせていただきます。</u>
出席予定者	入賞者47人（重複受賞を含む）、 編集委員（委員長 藤岡武雄氏）8人、 選者8人（6人は編集委員を兼任）、市関係者4人



【文芸三島44号表彰式の様子】

文芸三島第44号入賞者一覧

部門	賞	入賞者氏名	ペンネーム	題名
小説	文芸三島賞	寺田 淑乃	四方 凜子	カフェ桜川 - 三日月夜の客、賢太の場合 -
	奨励賞	勝川 宏美	長月 梓	あの人の嘘
	奨励賞	廣中 教純	広中 教純	散って咲く
	奨励賞	徳永 慎司	並木 涼	大阪の街に雪が降る
	奨励賞	杉山 むつ美	マカレア	緩和病棟
文芸評論	文芸三島賞	鈴木 隆幸		三島町(市)歌 覚書
随筆・一般の部	文芸三島賞	田宮 真理子		日韓の間で生きた画家・佐藤九二男
	奨励賞	古長谷 達子		秋祭り
	奨励賞	沼上 廣美		愛と感動の旅
	奨励賞	櫻井 よし江		ムウちゃんとお水のまち三島
	奨励賞	深山 幸子		福島の六日間
	奨励賞	池谷 恵子	しみず けい	鳴く鹿の
	奨励賞	池田 英敏		長期記憶
随筆・学生の部	奨励賞	鈴木 泰智	漣 烈恋	「死」を通して
詩・一般の部	文芸三島賞	吉田 郷江	みなみ しまこ	太陽はいつでも
	奨励賞	奇二 道子		時をつなぐ
	奨励賞	保科 章代		未来予想図
	奨励賞	谷 和子		大地の足音
	奨励賞	深山 幸子		戦後七十五年
	奨励賞	江川 温子		ほのかに
	奨励賞	鬼久保 文子		少年の気遣い
詩・学生の部	奨励賞	野田 慶暁	ななかわ ともき	僕は明智
	奨励賞	佐藤 朱桜		雨の日
	奨励賞	古澤 朝陽		青年期
	奨励賞	古藤田 晴菜		自分らしさ
	奨励賞	入江 優虎		あなたにとっての
短歌・一般の部	文芸三島賞	矢田部 てるみ		
	奨励賞	奈倉 富喜子		
	奨励賞	鬼久保 文子		
	奨励賞	二ノ宮 隆子		
	奨励賞	鈴木 昭紀		
	奨励賞	向井 昌代		
	奨励賞	木村 由美子		
	奨励賞	星谷 孝彦		
	奨励賞	谷口 トシ子		
	奨励賞	江川 温子		
短歌・学生の部	奨励賞	松永 慶悟		
	奨励賞	後藤 舞花		
俳句・一般の部	文芸三島賞	鈴木 経彦		
	奨励賞	鈴木 昭紀		
	奨励賞	村山 裕子		
	奨励賞	古長谷 達子		
	奨励賞	伊藤 義孝		
	奨励賞	福田 佳子	ふゆ いち こ	
俳句・学生の部	奨励賞	磯野 仁志		
川柳	文芸三島賞	古長谷 達子		
	奨励賞	寺田 光一郎	だみぞう	
	奨励賞	志村 肇	志村 遊酔	
はめ字文	文芸三島賞	志村 肇	志村 遊酔	
	奨励賞	溝田 昌宏		
	奨励賞	土屋 豊和		
	奨励賞	松澤 紘一郎		
	奨励賞	寺田 光一郎	だみぞう	
	奨励賞	泉明寺 邦彦		
奨励賞	森崎 祐治	とうめいじんげん		

※1
※2
※3
※4
※5
※6
※7

※重複受賞者

地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定

国土交通省国土地理院による市職員研修会

～国土地理院との協定内容を職員が把握～

令和3年7月に熱海市で発生した土石流災害を受け、国土交通省国土地理院と地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定を11月9日に締結しました。

これを踏まえ、国土地理院職員を講師に迎え、三島市職員研修会を開催し、地理空間情報の活用方法等について理解を深めます。

ここがポイント！

- 国土地理院職員が三島市職員に対して、協定内容等の概要及び地理空間情報の活用方法を説明してもらうことで、災害時における地理空間情報の活用をはじめとする市職員の技術力向上につながる。

1 日 時

12月21日（火） 午前10時～

2 場 所

市役所中央町別館4階 第1会議室

3 研修内容

- ・ 協定締結の基礎内容
- ・ 国土地理院のデータを用いた地理空間情報の利活用
- ・ 災害時の国土地理院の対応状況（熱海市伊豆山の例も交えて）
- ・ 盛り土の状況把握に活用できる地理空間情報

三島市計画まちづくり部都市計画課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：石田
TEL. 055-983-2631 FAX. 055-973-7241
e-mail : toshikei@city.mishima.shizuoka.jp

国土交通省国土地理院中部地方測量部 〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-1 担当：南
名古屋合同庁舎第2号館

TEL. 052-961-5643（直通） FAX. 052-961-5639
e-mail : gis-cb_renkei@gxb/mlit.go.jp